

一斉登校指導(マナーアップ運動)に参加して

生活委員会委員長 3年3組 小松 秀子

6月14日(水)の朝、生活委員会の活動の一環として、一斉登校指導を行いました。当日は小雨の中での活動となりましたが、生徒たちの登下校時の安全確保は非常に大切なものです。短時間ではありましたが、その姿を見守ることができたのは、保護者として安心に繋がるものとなりました。本年4月より、自転車の運転時にもヘルメットの着用が努力義務となりました(県立高校は義務化)。生徒の皆さんは、今後も交通ルールを守り、交通社会の一員として安全に気をつけながら登校してほしいと願っています。



PTA会長挨拶

関東地区高等学校PTA連合会大会(栃木大会)に参加して

PTA会長 3年1組 齋藤 竜



第69回関東地区高等学校PTA連合大会が、7月7日(金)、8日(土)の2日間の日程で行われ、高等学校及び特別支援学校のPTA代表、約1,600名が参加しました。

今年度は「未来を描き、切り拓いていこうとする子供たちをかくむために」をテーマに、各代表校による活動報告や意見交換などを行い、活気あふれる現地開催となりました。記念講演では『花みどりの力』の演題で、日本女性初の樹木医・はままつフラワーパーク理事長でもある塚本こなみ氏による、興味深く心に残るお話を聞くことができました。はままつフラワーパークでは不登校の子供達が通える適応障害自動教室が設立され、そこでの生徒と先生と植物とのつながりに関するお話を聞き、これからの学校や家庭生活においても大事な事だと感じた次第です。お話の中で、植物には「人間性還元力」というものがあり、「根本」・「根幹」・「根源」など人の心を表す言葉には「根」という言葉が使われていて、「人を育てるのも樹を育てるのも土壌が大事」と話されたのを伺い、言葉の重みを実感しました。

今回の大会に参加させて頂き、もちろん子供達の安全が第一ですが、先生や地域の方々の教育と協力があつたうえで、何よりも保護者の方々の、時に厳しく、時に優しい言葉が、子供達にとって一番の心の支えになるのではないかと思います。いろいろな活動ができるようになったことで御苦勞されている方も多いとは思いますが、これからもPTA活動を通じて、生徒が高校生活を楽しく過ごせるために、保護者の皆様の御理解と御協力を宜しくお願い致します。

校長挨拶

創立100周年記念式典を終えて

校長 渡邊 圭一郎



創立100周年記念式典が9月23日(土)に本校体育館で開催されました。式典には山梨県教育委員会 降旗友宏 教育長を始め、南アルプス市長、富士川副町長、関係県議、学校関係者、同窓会役員等100名を超える来賓の方々の参列を賜り、盛大に開催されました。同窓生であるTHE LEGENDの志村権一氏の国歌斉唱で始まり、物故者の黙祷、式辞と続きました。挨拶、来賓紹介の後に、ホッケーで3大会オリンピックに出場した藤尾(旧姓千葉)香織さんへの特別功労者表彰と講演がありました。藤尾さんからは「自分を信じ夢や目標に向かってほしい」と後輩へのエールが送られ、在校生は努力することの大切さを感じ取ったと思います。表彰、マイクロバスの贈呈式の後に、生徒会長のフナキ夏恋さんから「伝統と校風を次の世代に責任を持って渡していく」という生徒代表の言葉があり、多くの来賓から絶賛する声が聞こえました。最後に志村権一氏と共に校歌を歌い式典は終了しました。式典での披露はありませんでしたが記念誌の発刊も記念行事の一環として行われ、参加者に配布されました。

式典後は財界で活躍している、太平洋セメント元取締役社長で日本セメント協会の会長も歴任した同窓生の福田修二氏による記念講演が開催されました。「物事は多面的に見ることが大切で、青春とは心の在り方である」との話があり、在校生達も生き方の指針を得たと思います。

午後からは式典で校歌を斉唱した志村権一氏を中心となって活躍する男性オペラユニットTHE LEGENDによる記念コンサートが行われました。力強く素晴らしい歌声に感動すると共に、様々な演出や音楽部とのコラボなど会場が一体となる場面もあり、楽しいひとときとなりました。志村権一氏からは「高校3年間人生の基礎となるので大切に過ごしてほしい」とのメッセージも頂きました。様々な面で活躍する同窓生に接することで、生徒達の将来に多くの可能性を感じた1日でもありました。

巨摩高校は大正11年9月21日に山梨県立第三高等女学校として設置が許可されました。翌年、101名の生徒を迎え入れ開校し、翌年には赤い屋根のモダンな新校舎が現在地に完成し、校名も巨摩高等女学校となり寄宿舎も完成します。昭和23年には学制改革により巨摩高等学校となり定時制課程も設置され、昨年100周年を迎えました。卒業生も3万名を超え、様々な面で活躍しています。101年目となった本年、巨摩高校は次の100年に向けて進化を続けています。山梨大学と連携やICT教育の推進などこれまでの取り組みは維持しつつ、アフターコロナでの「新たな文武両道スタイル」の追求、地域との連携やSDGsに関する様々な取り組みの強化、国際交流教育の復活・推進、新制服の導入など、巨摩高校の挑戦は止まりません。「チャレンジ精神無くして新たな伝統は築けない」との考えの基、常に進化を続けていきたいと思っております。学校の前庭にある『風のこころ』や『考える人』の像のように、生徒達が思慮深く自由な心を持って活動し、持てる力を存分に発揮できる教育を進めることで、巨摩高校は次の100年も優秀な卒業生を輩出し続けることを確信いたします。

巨摩高PTAだより

KOMA Style FOR PARENTS VOL.9

- 発行先…山梨県立巨摩高等学校
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
- 発行日…令和5年10月18日 ●編集…巨摩高校PTA広報委員会

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校 検索 URL…http://www.ko.kai.ed.jp/
E-mail…info@ko.kai.ed.jp

編集後記

多くの方々の御支援により、今年度の巨摩高PTAだよりVol.9号を無事、発行することができました。新型コロナウイルス感染症のため、限られた行事、活動が続いていましたが、活動の制限が緩和されたことで、子供たちが懸命に、そして楽しみながら学校行事や部活動に取り組む姿に接することができ、とても嬉しく思っております。これからも子供たちが希望と笑顔溢れる高校生活を過ごせるよう、見守っていきたくと思っています。

紙面作成にあたり、御協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。今後とも本校のPTA活動への御理解と御協力をよろしく願いたします。

広報委員会副委員長 2年5組 浅川 里栄子

2023. FOR PARENTS KOMA VOL.9

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。
コロナ禍を乗り越え、パワーアップしたPTA活動を皆様にお伝えします



ホッケー部の応援風景

男子バスケットボール部の応援風景

子どもたちと一緒に夢を紡ぐ 手づくりの活動を大切にしながら

特集… Special edition

- PTA広報委員会活動報告/夏の高校野球応援
- PTA一斉登校指導(マナーアップ運動)
- 校長あいさつ 100周年記念式典を終えて
- 白嶺祭PTAこまねきねこパン販売
- PTA会長あいさつ
- 関東高P連大会参加報告

創立100周年



広報委員会委員長 3年5組 清水 美穂

3年生にとって、今年は高校生活の集大成となる1年間です。高校入学当初から新型コロナウイルス感染症の影響で、さまざまな制限や活動の中止を余儀なくされてきました。「不安」「期待」の言葉からいずれば「活躍」の場へと、躍動感溢れる高校生活を誰もが思い描いていたと思います。しかし実際には、思うような学校生活が送れない日々が続きました。そのような状況下でも、誰一人弱音を吐くことなく、勇往邁進する姿が脳裏に焼きついていきます。本来ならPTA活動を通じて子供たちをサポートし、そうした保護者の姿を記録に残す広報委員会の活動も、ここ2年間は制約を受け、とてもやるせない気持ちでいました。その中でも、先生方が「子供たちに少しでも良い思い出作りを」と考え、輝ける時間と場を提供して下さる姿に保護者一同深く心を打たれました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、活動制限も緩やかになり、子供たちの活躍の場が広がり、それと同時に保護者もそうした活動を支援できるようになりました。春の県高校総体、関東大会、夏の甲子

園県予選、白嶺祭など、さまざまなイベントに足を運ぶ保護者の姿を撮影してきました。

今年の白嶺祭は3年ぶりに保護者の見学も可能となりました。全ての学年が工夫を凝らした多彩なクラスパフォーマンスで会場を盛り上げました。特に3年生のパフォーマンスでは、全校生徒と保護者が一体となり、会場内は大盛況となりました。子供たちの輝く姿、一生懸命な眼差し、それを陰で応援し支える先生方、保護者の皆様の姿を形に残すことが広報委員会の務めだと改めて実感することができました。

昨今、PTA活動の見直しが検討されています。しかし、実際に体験することで、PTA活動すべてが子供たちの充実した高校生活作りだと感じることができました。高校生活3年間の姿を、広報誌を通じて少しでも感じていただけたら幸いです。

これからも、PTA役員一同、子供たちが健康で安心、安全に、笑顔を決めず過ごせるような環境づくりを心がけていきたいと思います。最後になりましたが、PTAだよりを作成するにあたり、お忙しい中ご尽力いただいた先生方、各専門委員会の皆様方に改めて御礼申し上げます。



白嶺祭2日目 | PTAのこまねきねこパン販売!!



今年も大盛況!

PTAイベント支援委員会は、白嶺祭2日目に学校キャラクタの焼き印を押した「こまねきねこパン」と4種類のジュースを、生徒・保護者・先生方に販売しました。

♪こまねきねこで幸せ招く♪

イベント支援委員会委員長 3年3組 若林 靖子

本年度の白嶺祭は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、3年ぶりに保護者を迎えての開催となりました。PTAイベント支援委員会では、昨年同様、2日目にパンとジュースの販売を行いました。パンの販売に関しては、お馴染みのベーカリー・ルーブル様の御協力で、巨摩高校のマスコットをモチーフにした、オリジナル焼き印入り「こまねきねこパン」を500個販売。従来の食堂前での販売に加え、新たな取り組みとして移動販売を実施しました。これは、クラス企画などで持ち場を離れることができない生徒にもパンを買ってもらおうということが狙いでした。今回は、来場した保護者の方々にも購入してもらうことができ、喜びの声も直接いただくことができました。パンは好評につき売切れ、ジュースについては売れ残りもありましたが、全体的には大成功だったと思います。こうした成果を得たのは、役員会での活発な意見交換があったことが大きかったと感じています。さらに全体の役員会だけでなく3役と熊王先生との入念な事前打ち合わせがあったことも見逃せません。副委員長の三浦さん、井上さんは本校を卒業されたお子さんがいることもあり、色々なアドバイスをいただき、本

当に心強かったです。そして、今回の移動販売を実施することができたのも、臨機応変に対応して下さった熊王先生のお力添えがあったからと感謝しております。販売に携わっていただいた望月之美先生におかれましても、生徒や保護者への気配り、お心遣いが至る所に感じられ、嬉しい気持ちになりました。普段かかわることのない先生方や役員の皆様と楽しい交流をさせていただき、子供たちの喜ぶ顔も見られ、学校が身近に感じられた学園祭でした。これからも「♪こまねきねこ♪」が皆様の幸運を招いてくれますように…と願いを込めて、心からの感謝と御礼を申し上げます。



夏の高校野球応援～歓喜の勝利～

7.14 in 山日YBS球場



ともに白球を追いかけて

野球部保護者会長 3年1組 雨宮 一夫

7月14日(金)山日YBS球場。今年の夏の大会は応援の制限が解除され、本来の形での開催となりました。スタンドには生徒会本部役員、応援委員をはじめ、全校生徒とプラスバンドによる全校応援が戻り、現野球部の生徒達にとって初めての全校応援も活気にあふれていました。楽しそうに大きな声援を送るスタンドを見ると、最後の夏、この応援の中でプレーができた事が本当に良かったと感じました。選手達も初めて大勢の応援の中での試合を楽しむ事ができて感じています。

初戦は甲府商業。2回、5回と各1点を取られて0対2。それでも選手の顔を見ると自信に満ちた顔をしていたので、「これならいける」と心配にはなりません。その後も投手・有野君の頑張り、また各選手の好守備が続いて追加点を許さず、攻撃では6回、7回に各1点ずつを取って同点。迎えた9回表、藤田君の二塁打で逆転し、初戦を3対2で勝利しました。

初めてホームに並んでの校歌斉唱。今までの頑張りがあり、グラウンドで歌う校歌は一生忘れられない思い出となる事でしょう。保護者もオレンジタオルを大きく振り、全校生徒と一緒に勝利を祝いました。夏の大会での勝利は6年ぶり。宿願であった公式戦一勝の約束を果たしてくれました。3回戦の駿台甲府戦は残念ながら敗退しましたが、3年生にとって最後の夏は、全力を出し切った最高の夏になったと思います。

最後に、指導者の方々、全校応援をして頂いた学校関係者の皆様には本当に感謝の気持ちで一杯です。心のこもった応援ありがとうございました。

